

校長のたわいもない独り言

つぶやき

令和2年6月19日(金)第16号
発行人

ユーチューブで焼きそばの作り方を勉強している川崎先生。

★ “ちょっと何言っているのかよくわからない” 話★

・“つぶやき”はつぶやきであって、つぼやきではない。しかし“つぼやき”と言えばサザエだ。そういえばサザエで思い出すことがある。まだわが娘が小さいころ(保育園)あるすし屋でサザエの刺身を頼んだ。新鮮なサザエだと、カラの中に“ワタ”が入っている。これを引っ張り出した瞬間、その深い緑色の得体のしれない物体(緑いろのカブトムシの幼虫のようなモノ)に、わが娘は衝撃のあまりその場から飛び跳ねて逃げた。それ以降、彼女は24歳の今でもサザエの刺身が食べられない。川崎が普通にワタを食べている姿にも衝撃を受けたようだが、普通においしいし。大人の味よ♡。

・何から何まで計画的に“つぶやき”を書けるもんじゃありません。

・時にはネタに困ることだってありますし。

・そんな時に頭に浮かんでくることって、だいたいこんな内容ってことです。

・図書室で本を借りてきた。新刊本の中にあつた「モノのねだん辞典」という本だ。本は手に取って中をパラパラ見た瞬間に、これっ!!というインスピレーションで選ぶ(私は)。最近アマゾンで買うことが多いので(ほぼこれだが)、中身を確認せずに買うから、届いて開いた瞬間に“まずった〜”と閉じてしまうことも。ああ、自分には合わなかったな(T_T)と。やっぱり本屋さんで買うか、図書館で見て選ぶのがいいなと思った今日この頃。あつ、それでこの本の中に、「校長先生のイスの値段」という内容があつた。なんでも本革製で30万位のものが専用に売られているらしい。へえ〜、そうなんだ。と自分のイスを見る。ちえっ(-.-)y° °。

・まったく関係のない話だが、娘がまだ小さいころ(保育園)、富士急ハイランドの中にあるトーマスランドに行こうとした。富士急ハイランドの入口まで行ったところ、目の前をふじやまが猛スピードで通過した。それを見た娘はそれがトーマスだと勘違いして、大泣きして絶対に中に入ろうとしなかった。残念ながら富士急ハイランドをあきらめ、ドギーパークへ行ったという遠い思い出。

・また、まったく関係のない話だが、娘がまだ小さいころ(保育園)サンリオ・ピューロランドへ行った。入口でキティちゃんが迎えてくれたが、キティちゃんはちいさい人形だと思っていた娘は、等身大のキティちゃんが近づいてくることに驚き、川崎の陰に隠れ、しばらく真顔で固まっていた。まあ確かに暗い夜道で等身大のキティちゃんに出会ったら、きっと大人だって後ずさる。

・またまた、まったく関係のない話だが、クマのプーさんはなんたってクマなので、ハチミツを食べるかもしれないが、人も食う。

・多く人間がタケコプターで飛んでいるところを想像するのって嫌だ。

・でも、どこでもドアで世界中あちらこちらに旅行するのを想像するのって、ちょっと楽しい。でもそれを旅行というかは疑問だし、もしかしたら逆パターンで知らない人が突然自分の家の中にやってきちゃうかもしれない、と考えたらやっぱりヤダ。